

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科との共同研究

糖尿病予備群の初期症状をブラジル産プロポリスが予防

— インスリン抵抗性・血管反応性異常の改善効果を論文発表 —

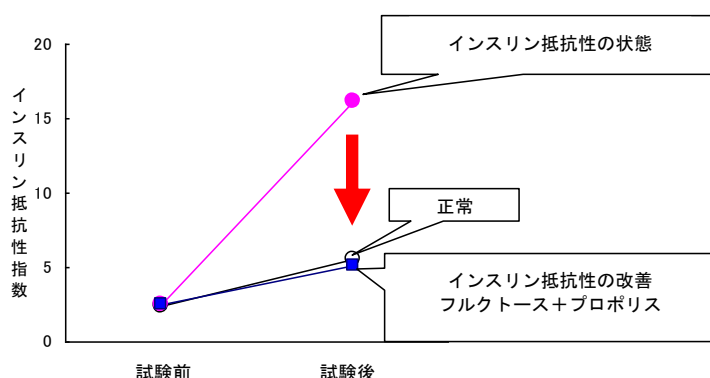
プロポリス^{注1}等のミツバチ産品を製造・販売する株式会社山田養蜂場は、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 川崎 博已 教授と共同研究を行い、糖尿病の一步手前に起こるインスリン抵抗性^{注2}(インスリンが効きにくくなる状態)および血管反応性(血管の収縮や弛緩の反応性)異常がブラジル産プロポリスの予防的な飲用によって改善される事を試験で初めて明らかにしました。この研究によって、健康な状態のときからプロポリスを継続的に飲用することによって、糖尿病予備群の初期症状の予防に役立つ可能性が明らかになりました。

この研究成果は、本研究グループが初めて2007年3月、日本薬学会 第127年会で学会発表し、このたび、専門学術誌である薬学雑誌(YAKUGAKU ZASSHI、2007年12月号)に論文掲載されました。既に薬学雑誌(2007年11月号)に論文発表済みのローヤルゼリーに引き続き、プロポリスもインスリン抵抗性および血管反応性異常の改善作用を持つことが科学的に認められました。

川崎教授からは、「インスリン抵抗性は、糖尿病予備群のほかメタボリックシンドロームにおける初期段階の重要な兆候でもあることから、ローヤルゼリーに加えて、ブラジル産プロポリスにもメタボリックシンドロームの予防効果が期待される」とのコメントを頂いております。

今後も弊社は、プロポリスやローヤルゼリー等の健康維持に役立つ効果を科学的に追求し、結果が得られ次第お知らせしてまいります。

図 ブラジル産プロポリスのインスリン抵抗性改善作用



本件に関するお問い合わせ

株式会社山田養蜂場 文化広報室 早瀬、畑
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場 194
TEL:0868-54-1906 (月～金 9:00～17:30、土日祝除く)
FAX:0868-54-3346 <http://www.3838.com>